

みずほCustomer Desk Report 2019/11/14号 (As of 2019/11/13)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.92
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.00	1.1012	120.03	1.2852	0.6841
SYD-NY High	109.15	1.1020	120.17	1.2862	0.6858
SYD-NY Low	108.66	1.0995	119.60	1.2822	0.6822
NY 5:00 PM	108.81	1.1007	119.78	1.2848	0.6837
NY DOW	27,783.59	92.10	日本2年債	-0.19	▲2.00bp
NASDAQ	8,482.10	▲3.99	日本10年債	-0.05	▲1.00bp
S&P	3,094.04	2.20	米国2年債	1.645	▲1.61bp
日経平均	23,319.87	▲200.14	米国5年債	1.697	▲3.64bp
TOPIX	1,700.33	▲9.34	米国10年債	1.890	▲3.65bp
シカゴ日経先物	23,345.00	▲135	独10年債	-0.3015	▲4.60bp
ロンドンFT	7,351.21	▲14.23	英10年債	0.7575	▲4.65bp
DAX	13,230.07	▲53.44	豪10年債	1.2720	▲0.05bp
ハンセン指数	26,571.46	▲493.82	USDJPY 1M Vol	5.48	0.18%
上海総合	2,905.24	▲9.58	USDJPY 3M Vol	5.93	0.15%
NY金	1,463.30	9.60	USDJPY 6M Vol	6.40	0.10%
WTI	57.12	0.32	USDJPY 1M 25RR	-0.83	Yen Call Over
CRB指数	180.31	0.51	EURJPY 3M Vol	6.44	0.11%
ドルインデックス	98.33	0.02	EURJPY 6M Vol	6.79	0.05%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月13日	16:00	独	CPI(前月比/前年比)・確報	10月 0.1%/1.1%
	18:30	英	CPI(前月比/前年比)	10月 -0.2%/1.5%
	19:00	欧	鉱工業生産(前月比/前年比)	9月 0.1%
	22:30	米	CPI(前月比/前年比)	10月 0.4%/1.8%
11月14日	01:00	米	パウエルFRB議長 議会証言	現在の政策スタンスは適切である公算大きい

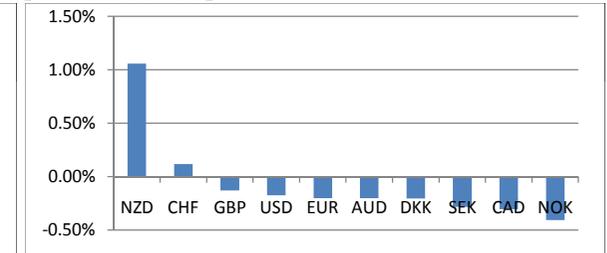
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月14日	08:50	日	GDP(前期比/前年比)・確報	3Q 0.2%/0.9%
	09:30	豪	雇用者数変化/失業率	10月 15.0k/5.2%
	11:00	中	小売売上高(前年比)	10月 7.8%
	16:00	独	GDP(前期比)・速報	3Q -0.1%
	18:30	英	小売売上高(除く自動車燃料・前月比/前年比)	10月 3.4%/0.2%
	19:00	欧	GDP(前期比/前年比)・確報	3Q 0.2%/1.1%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	- 215k
11月15日	00:00	米	パウエルFRB議長 議会証言	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】センチメント良好と見るが、

ドル円相場は109円前後のレベルで推移している。FRBの政策決定を受けた米金利の低下にドル円相場は一時連れ安となったが、米中貿易協議の前向きな進展に対する期待感などから、株式市場は高値圏で推移、金相場は下落傾向となる中、年末を来月に控えてマーケットセンチメントの好転を感じる。

一方で、リスクの種は沢山ある。米中貿易交渉におけるコミュニケーションの分裂一選挙戦を控えた米国大統領は中国に足元を見られ易い。不安定な米金利の動向一FRBの政策決定を受けて足元金利低下に歯止めがかかっているが、金利相場の動きは引き続き不安定だ。その他、合意なきBREXIT懸念についても、離脱期限延期を受けてマーケットの注目度は下がっているが、EUサイドから離脱について厳しい発言がいつ見られてもおかしくない。

昨晩行われたパウエルFRB議長の議会証言の内容は、直近FOMC後の会見におけるメッセージを引き継ぐ形の内容となりマーケットのセンチメントは引き続き安定的を保っている。良好なセンチメントがいつまで継続するのリスクの多さを考えると予断が許されない。(尾身)

東京	東京時間のドル円は109.00レベルでオープン。午前は香港情勢に起因したアジア株の全面安がドル円の重しとなり、108.87まで小幅に下落。その後ユーロランド中銀が政策金利の据え置きを発表し、市場の予想に反して効派であったことからNZD円は約80銭上昇した。一方でドル円の値動きは限定的となり、109.12の高値をつけた後109.07レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、109.07レベルでオープン。一時は109.15円まで上昇するも、アジア時間の株安が嫌気され、すぐに円高ドル安方向に。その後も円買い優勢な展開は継続し、108.84レベルでNYへ渡った。ポンドドルは、1.2850レベルでオープン。朝方10月の英CPI等の経済指標が発表されるものの概ね市場予想通りであり、為替市場の反応は限定的。その後も目立った材料のない中、1.2824-1.2858のレンジで揉み合った後、1.2837レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 永井)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、株安を受けた円買いに108.80まで下落し、108.84レベルでNYオープン。朝方は、米10月CPI(前月比)が予想を上回ったことから、108.92まで戻すが、海外市場の流れを引き継ぎ、円買いが継続したことから反落する。9時半に発表されたパウエル議長の議会証言の事前原稿を受けたドル円の反応は限定的となるが、その後も米中貿易協議が難航しているとの見方に円買いが継続し108.67まで下落する。パウエル議長の議会証言では金利据え置きが示唆されたものの、大方の市場の予想通りであったことからドル円の反応は薄くその後108.85まで戻す。午後に入り、「米通商協議、農作物の購入巡り協議が難航」とのヘッドラインが伝わり、108.66まで反落するが、その後は下げ止まり、108.81レベルでクロスした。一方、海外市場で狭いレンジでの推移が続いたユーロドルは、1.1008レベルでNYオープン。朝方は1.1015まで戻す局面もあったものの、ややドル買いが優勢となったことから1.0995まで反落する。午後は、狭いレンジでの推移が続き、1.1007レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:尾身・木村 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

	竹内	加藤	関	光石	岡本	上野	尾身	原田	玉井	ブル	ベア
Today	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	5	4
Week	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	4	5